

事業所における自己評価結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表:令和4年 1月 17日

事業所名:ハート愛

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・利用人数が多い日は手狭に感じることがあるが、隣の和室をクールダウンや個別対応、更衣等に使うなど、多目的に使っている。	・法人内の共有スペース(広間)等の計画的活用で課題解消に努める。 ・新築移転時に根本的解消する。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・法的配置基準は満たしているが、児童が多い日は不足を感じる。よりよいサービス提供のために、シフトの工夫などで対応している。	・児童の利用人数に合わせたシフト編成の工夫で対応する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・自分たちで不具合を見つけて、改良できるところは改良している。	・段差等業者に依頼すべきところは、順次整えている。水道の高さその他等は、新築移転時に解消。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日々の活動については事業所職員全員で共通理解しながら進め、行事等は管理者も含めてPDCAサイクルを実施する。	・法人全体に働きかけて整えるべきPDCAサイクルは、今後の課題。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・昨年度のガイドラインによる保護者の御意見等を基に特に危機管理関連のマニュアル作成など課題部分の改善に努めた。	・ハード面に関しては、法人の計画との調整の中で優先順位を検討しながら今後も改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・平成28年度から、ホームページ掲載、紙媒体による館内掲示及び保護者への配付等行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・公開療育を率先して行うことで、率直な評価をいただくとともに、法人の第三者委員にも概要を伝え、参観等もお願いし、評価をいただいている。	・今後、学校の教師等による評価も検討したい。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・基本は日々の活動場面を生かしたOJTであるが、年間研修計画に基づいた事業所内研修の充実を図っている。	・今年度はコロナ禍のため、外部講師派遣による研修を組めなかった。来年度は何らかの対策をして実現したい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者との面談を基本に据え、担任及び専門機関の職員のアドバイス、標準検査等を参考に作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・平成29年度以来、保護者の協力を得て、全利用児童にS-M社会生活能力検査を実施している。	・個別支援計画への反映をよりきめ細かく行いたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・担当を中心に原案を作り、職員全員で検討する。立案に当たっては、ガイドラインの「基本活動」を踏まえた当事業所の分類「創作」「音楽」「レク」「ゲーム」「表現と鑑賞」「感覚/運動」「生活」「その他」で構成している。	・一つ一つの活動が、児童の発達課題に沿ったものかどうかをより精査したい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・上記八つの分野をベースに、季節行事など児童が見通しを持てるものを大切にしながらも、新しい経験を大切にするなど、児童のモチベーションを高めるようにしている。	同じ活動でも、担当を変えることで切り込みが違い、良い化学反応が期待できる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日は、放課後という限られた時間との関係で、十分な時間がとれないため、長期休業中は平日、一日単位で時間を必要とする活動を組むようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・基本的には、平日1本、長期休業中2本の集団活動を中核に据えその中で個別対応も行っているが、それ以外の時間にはさらに個別対応で補うようにしている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・決められたその日の活動担当を中心に、運営方法等業務の合間合間で話し合い、用具等含め共同でよりよいものに仕上げている。	・話題の共有をより多く持つために、担当の早めの前案立案が課題。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・送迎以外で当日いる職員で、反省点等話題にするようにしている。	・送迎等で同席できなかった職員は、翌日にコメントを伝えるようにする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援日誌の反省欄を、担当のみならずサブの職員(活動担当以外)もコメントを残すようにしている。	児童の発達の節目的行動が見られたときは、より詳細にケース記録に残し、情報の共有を図るようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリング会議を実施し、児童発達支援管理責任者、担当者等を中心に話し合っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・項目10及び11で記述したように、8分野のバランスのとれた活動を有機的・単元的に組み合わせ実施している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者、児童担当者が中心になり参加するようにしている。さらに電話連絡その他による情報収集の補足も行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・今年度はコロナ禍ということもあり、通常の「年間計画」「行事予定」「下校時刻変更」等の連絡調整・情報共有をより密に行った。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、いわゆる「医療的ケア」に該当する児童はいない。軽微な持病若しくは一時的な病気の与薬等は、保護者との緊密な連携の下行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・それぞれの事業所独自の資料及び鹿児島市発行の「夢すこやかファイル」等のツールを活用して情報共有を図っている。	・ファイルを持たない保護者もあり、身近にお渡しするために、事業所にも市から供給されるとありがたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・保護者の了解が得られたら、障害福祉サービス等へ情報提供はできるようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・Y医療福祉センターとは今年度も継続的に契約し、年間通して専門家から指導助言をいただいている。	・毎年お願いしている発達支援センターからの講師招聘による研修会を、今年は持てなかったが、来年度は復活したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・コロナ対応のため、今年度は児童クラブとのビデオ交流という形で計画を立てたが、まだ実現できていない。	・当事業所若しくは法人で実施している様々な行事・イベント等へ招待するなどの形も考えたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・相談支援専門員が参加しており、情報共有を図っている。	・可能であれば、当事業所職員も参加できるようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・毎日の個別の活動記録を通して若しくは児童送迎の際、その日の児童、最近の児童の様子を共有するようにしている。	・今年度は実施できなかったが、「保護者の集い」をより保護者のニーズを踏まえた形で実施したい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・今年度も年度初めに「職員・保護者合同研修会」を計画していたが、コロナ禍ということもあり現時点でまだ実現できていない。	・コロナ下でもできる形を模索したい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			児童発管を中心に、利用前の見学・体験時等に必要な諸事項について説明するようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・電話、送迎時等に話題にされたことについて、丁寧にお聞きし、取り上げて必要に応じて助言等お伝えするようにしている。場合によっては、Y医療福祉センターの専門家等にも相談するなどして、解決に向けた対応をしている。	・保護者がより安心して相談できる関係・雰囲気築くようにしたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・今年度はまだできていないが、事業所指導で「保護者の集い」を計画している。	・昨年度からの懸案事項として、保護者主導の「保護者会」があるが、コロナウィルスの状況を見ながら、立ち上げる準備をしたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・法人としての「苦情対応」担当もいるが、「対面」「電話」「ライン」など日常的にアンテナを高くしてなるべく素早く細やかに対応できるようにしている。	・現在のところ特に苦情はないが、これまで以上に、より密な職員間の情報共有を行うことで、素早い対応ができるようにしたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・週報、月報を始め、様々な連絡・お願い等については、その都度文書若しくは電話及びSNS等を活用して発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・基本的なものはしっかり保護し、本人(保護者)によって基準が違うものについては、年度初めに調査の上、希望に添って対応している。(「人権擁護ハンドブック」等活用)	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・室内外(環境)の構造化等を工夫するとともに、職員・児童間で「相互障害状況」にならないように、TEACCHやINREALなどの職員のコミュニケーションスキルに係るスキルアップの機会を充実させるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・コロナウィルスのため今年度はできなかったが、法人の「秋祭り」等で地域への呼びかけを行っている。	・事業所の「夏祭り」で、地域を巻き込む方策を探りたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・「児童捜索マニュアル」「感染症対応マニュアル」「防災マニュアル」等作成し、必要分は保護者にも配付し理解をいただくようにしている。	・この2年、コロナウィルスのために、対面で保護者に説明できていない。終息次第実施したい。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・事業所内で毎回想定を変え、独自の支援ツール等を活用しながら「地震/火災避難訓練」及び「送迎バス避難訓練」等実施したり、法人の避難訓練に参加したりしている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・年間研修計画に基づいて、時間確保。代表して外部研修等を受けた職員からの伝達研修の形をとっている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束を常時必要とする児童はいない。障害特性による混乱や興奮が見られる児童は、クールダウンの部屋等活用する。基本的には、日頃から「交渉」で解決するようにしている。計画への記載については、必要に応じて随時行う。	・現在、必要な児童はいらっしゃらない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・「家庭調査票」と共に、年度初めに「栄養アセスメント」を実施し、栄養士との情報共有を図っている。	・現在、アレルギーの該当者はいらっしゃらない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・気になる事案発生時に、事業所内で共通理解し、法人の様式に従って記録し法人に提出。控えは事業所保管している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。